

ネット常時接続

高速、月額5000円程度

ソネット・数理技研 公衆回線を利用

通信機器関連のソネット（東京・墨田、小林博昭社長）とソフト開発の数理技研（東京・新宿、東条巖社長）のベンチャー企業二社は共同で、インターネットを月間五千元程度の定額制で常時接続できる高速通信サービスに乗り出す。ADSL（非対称型デジタル加入者回線）と呼ばれる技術を用いて、既存の公衆電話回線で光ファイバー並みの高速通信を可能にする。

週明けにも郵政省に一般第二種電気通信事業者の届け出をし、日本電信電話（NTT）グループと回線利用の交渉に入る。規制緩和に伴うNTT回線開放に対応した動きで、インターネット接続業者や長距離電話各社も参入を検討しているが、具体化はこれが初めて。

両社は二十九日に共同出資で、東京めたりっく通信を設立した。資本金は三千万円で、社長には小林ソネット社長が就任。新会社は既存の通話より高い周波数帯を効率的に活用するADSL技術を用い、NTTの交換機を通さず直接MDF（主配線盤）に接続する。

両社は一般家庭向けについては、通信料を含めて月額五千元程度を目指しているが、具体的な料金設定はNTTグループとの交渉後に決める。また、モデムなど装置の販売価格やレンタル料などは今後詰める。